

まちの話題

TOPICS



7/21
~9/30

戦国の若狭「光秀がくる」

第33回企画展 戦国の若狭「光秀がくる」が歴史文化館において開催されています。これは来年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公である明智光秀が生きた時代の状況と、その光秀と若狭の関わりを紹介するものです。

当時越前朝倉氏と敵対していた織田信長の意向を受け、若狭の武田家家臣を掌握するため、明智光秀や木下藤吉郎（後の秀吉）らは「織田信長宿老連署状」（神明神社所蔵）を発しました。この書状は光秀の署名がなされた大変貴重なものです。（その後光秀は熊川より若狭に入り、朝倉氏攻めに参陣しています）

合わせて町内の戦国時代の山城についても紹介しています。



7/27
~28

今川裕代 ピアノアカデミー 2019

今年も若狭町ふるさと大使でピアニストの今川裕代さんによるピアノの公開レッスンが開かれました。7月27日、28日の2日間にわたり、小学生から大人まで町内外の14人が今練習している曲で特別講習を受けました。日頃なかなか受けられないレッスンとあって、どの受講者も真剣そのもの。音色の使い分けや、どの音を際立たせるか、また、どのまとまりをひと息に弾くかなど、ピアノ演奏のコツや音楽の楽しさを教わりました。



8/2
~4

第50回吹田市・若狭町 子ども会リーダー交歓会

昭和45年大阪府吹田市で開催された万国博覧会に旧三方町の子供たちが招待されたのをきっかけに交流が始まり、今年で50周年を迎えました。

今年は吹田市の子供達を若狭町に招待し、みさきちで漁村体験や年縞博物館の見学、その他テントでの宿泊やキャンプファイヤーなど若狭町の自然を感じながら交流を深め、夏休みの良い思い出づくりをしました。



8/4 縄文であそぼう! DOKIDOKI体験

若狭三方縄文博物館友の会「DOKI DOKI 会」が古代の生活や文化を体験してもらうようと、縄文ロマンパーク周辺で毎年開催しています。この日もはす川で丸木舟を模したFRP(繊維強化プラスチック)製の舟に2、3人が乗船し楽しみました。思い通りに漕げず苦労していましたが、参加者は笑顔いっぱいでした。また勾玉を作る体験もあり、砥石で約3センチ角の勾玉を磨き、オリジナルのアクセサリーを作り楽しみました。



8/11 うりわり! 流しそうめん!

毎年8月に若狭瓜割名水公園で開かれていた「若狭瓜割名水まつり」が今年は中止となりました。町民から継続を求める声を受け、三宅地区昭和48年度生まれの15人のグループ「三宅48(よんぱち)会」が中心となり、地元区や地域づくり協議会、名水公園管理組合と流しそうめん実行委員会を立ち上げ、人気の流しそうめんに絞り開催を決めました。

この日は晴天のもと、公園内の天徳寺会館横に設置した竹の流し台には、地元をはじめ町内外より大勢の人が訪れ、流しそうめんを楽しみました。

三宅48会会長の辻本浩之さんは「今後継続できるよう、まつりの形をゆっくり考えていきたい。とにかく自分たちも楽しんで地域の役に立てたら…」と笑顔でそうめんを流していました。



8/11 第11回女性の会 夕涼み会

若狭町女性の会主催の第11回夕涼み会が歴史文化館前駐車場にて開催されました。子ども達のフラダンスで開幕し、その後シテナ踊りなどの盆踊りをしました。唐揚げや焼きそば、スーパーボールすくいなどの屋台もあり、子どもから大人まで真夏の夕方のひと時を楽しみました。若狭町女性の会の会員は色とりどりの浴衣を着て、おもてなしをしました。会長の小堀由美子さんは「毎年恒例になりました夕涼み会が会員はもとより、地域の皆さまにご協力を得て盛大に開催でき、感謝しております。是非今後も続けていけたらいいな」と話していました。



8/19 宇波西神社秋祭

宇波西神社(気山)にて秋祭りが開催されました。神事後、台風などの暴風雨に遭うことなく、豊かな実りの秋が迎えられるよう祈りを込め舞う「風祈能」が若狭能倉座の皆さんにより、県無形文化財に指定されている「一人翁」などが演じられました。第83代座長の福谷喜義さん(能登野)が翁の面をつけて、ゆったりとした動きで舞を厳かに奉納しました。その後、少年剣道奉納試合も行われました。



8/23
~25

第20回若狭町チャレンジウォーク

南越前町の今庄365スキー場からリブラ若狭まで約50kmを2泊3日かけて歩く「第20回若狭町チャレンジウォーク」が8月23日に始まり、町内の小学4年生から6年生の25人が参加しました。

集団の中で生活体験することにより、自立心・忍耐力・協調性を養ってもらおうと、若狭町子ども会育成連合会などが組織する実行委員会で毎年企画しています。

リブラ若狭で行われた結団式では、代表として竹村知己さん(野木小6年)が「自分のことは自分で出来るように、少し辛いことには耐える自分を育ててきま

す。スタッフの皆さんとのふれあいと自然体験の中で、本当の自分を見つけてきます」と力強くあいさつしました。一行はバスで今庄365スキー場へ出発し、1泊目は咸新小学校(敦賀市)、2泊目は美浜東小学校(美浜町)に泊まり、25日午後予定通り若狭町に帰ってきました。

8/24 梅園マルシェ

若狭町の梅農家など6人のメンバーで活動している「若狭UMEアクティビティ」が梅ヶ原集落センターで梅園マルシェを開催しました。梅干しや梅ジャム、梅しょうゆなどの梅製品や、サバのへしこや手作りアクセサリーなどを販売しました。

代表の伏見勇希さん(梅ヶ原)は「これまで梅の収穫体験などのイベントをやったりして若狭町が梅の産地というPRをしてきました。今回はマルシェ(市場)という形式で梅もぎの手伝いなどをしていただいて知り合いとなった人たちに声をかけて初めて企画しました。これからも定期的に開いて梅のPRはもちろん、地域の人の交流もできればと思います」と話していました。



8/24 若狭里っ子保育体験

若狭町の保育は、自然の中で子どもが主体的に遊び、学んでいる「若狭里っ子保育」を推進しています。

この日、とばっ子保育園（大鳥羽）で来年度入園を予定している町内外の親子が、保育体験に参加しました。子ども達は、はじめは恥ずかしそうにしていたましたが、しばらくすると土遊びや手作りおもちゃなどで集中して遊び始めました。参加されたお父さんやお母さんは、楽しそうに遊んでいる我が子を見て安心している様子でした。



8/24 松見知明展ワークショップ ネイチャーランプづくり

8月24日から9月15日に開催された松見知明展（立体造形）の初日に、出展者によるワークショップが行われました。この日は、午前と午後の2回に分けて小学生から大人まで町内外の各15人が世界に一つだけのマイランプを作りました。枝を切ったり削ったりして苦労しながら丸木の



の台にさし、木の枝の間からもれる優しい光のネイチャーランプが完成しました。

参加者は「初めての体験です、何も考えずに好きなようにやれて楽しかったです。やっている内に真剣になってきました」と話し、自分の作った作品を満足そうに眺めていました。

9/1 「きららの湯」入館者160万人達成!!

この日、平成17年3月の開館以来、入館者160万人目となる千田さおりさん（鳥浜）と長女の美月さん（4歳）に、森下町長と指定管理者の株式会社オーイングの古澤副社長より記念品が送られました。

千田さんは「突然でびっくりしました、娘はきららの湯が大好きで家族でよく利用させてもらっています。この度はありがとうございます」と笑顔で話していました。2階にはリニューアル1周年記念として「ギャラリーきらら」も新設され、大南栄男さんの写真の個展も開かれています。

また10月6日には、子ども達に人気の「ミニ四駆レース」や明治国際医療大学による「健康教室」も開かれる予定で、ハンバーガーやワッフル、クレープのキッチンカーも営業して賑やかにリニューアル1周年のイベントが行われます。



ぴあ映画
初日満足度1位
(11月3日ぴあ調べ)

文部科学省
特別選定映画

厚生労働省
推薦映画

認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私—

ぼけますから、 よろしくお願いします。

ドキュメンタリー映画

広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録

監督・撮影・語り

ひとり娘

信友直子

プロデューサー：大島新 落瀬 共同プロデューサー：前田曼紀 堀 治樹 山口浩史
編集：目見田 健 実景撮影：南 幸男 音響効果：金田智子 ライン編集：池田 聡 監音：高永憲一
配給宣伝協力：ボレボレ東中野 ウッキー・プロダクション 製作・配給：ネツゲン フジテレビ 関西テレビ
2018年/日本/カラー/102分/©「ぼけますから、よろしくお願いします。」製作・配給委員会

www.bokemasu.com

映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」上映会&人権メッセージ表彰式

若狭町人権意識高揚大会

法務省
委託事業

令和
元年 10月19日(土)

パレア若狭 音楽ホール

開場9:00／開演9:30

入場無料 ※要入場券

9月2日(月) 入場券配布開始!

入場券
配布場所

- 教育委員会事務局
- パレア若狭
- リブラ若狭

■主催／若狭町人権教育推進協議会 若狭町教育委員会 ■お問合せ／若狭町教育委員会事務局 TEL 0770-62-2731